

美しい富士山を、未来の子どもたちに

ふじさんネットワーク

FUJISAN NETWORK

2022.3

vol.
64

巻頭インタビュー

次世代へ大切に繋げたい 富士山と周辺の自然環境

ホールアース研究所
代表理事

山崎 宏さん

富士山エコレンジャー、富士山エコサポーターの募集

マックスバリュ東海株式会社様から御寄付をいただきました

ふじさんネットワークの会員活動補助事業(補助金・応援金)について

富士山のごみ持ち帰りマナー向上対策事業

根原県有地の草原性植生保全活動体験等

外来植物撲滅大作戦について

美しい富士山を、未来の子どもたちに

ふじさんネットワーク

2022.3
vol. 64

Welcome



Join Us

「ふじさんネットワーク」 会員募集中!

Check!

「ふじさんネットワーク」は、その活動を通じて、富士山を国民の財産として、世界に誇る日本のシンボルとして、後世に引き継いでいくことを目的とします。富士山の環境保全活動を行うグループ、自然保護団体、NPO、企業、マスコミ、行政等による会員制のネットワーク組織ですが、富士山を愛する人なら個人でも登録ができます。

入会費
年会費
無料

特典

- 「ふじさんネットワーク」の冊子が届きます
- イベント情報をいち早く入手できます
- シンボルマークが使えます

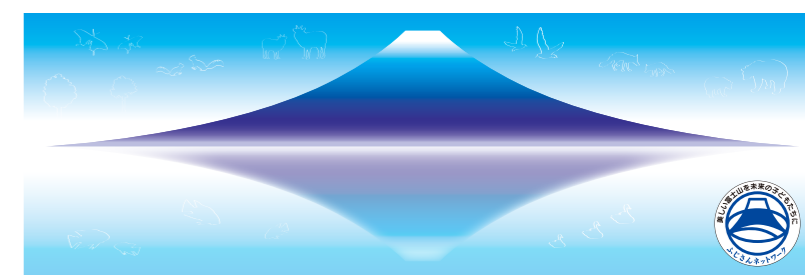


「ふじさんネットワーク」の取り組みなどはホームページから見る事ができます。

<http://www.fujisan-net.gr.jp/>

寄付していただいた方に
オリジナル記念品
を差し上げています

「富士山総合環境保全指針」と行動規範としての「富士山憲章」の周知・定着を図り、富士山の環境保全への関心を高めてもらうため、ふじさんネットワークの環境保全活動への寄付を募るとともに、記念品を差し上げています。



NEW

新寄付記念品 手ぬぐい「鏡富士」

■サイズ:(約)35cm×90cm ■綿100% ■1口:1,000円以上

ピンバッジもぜひ御利用ください。
一口300円から気軽にできる寄付です。

高級感のある光沢加工で
文字はゴールドのピンバッジです。

SAVE Mt.FUJI

- ピンバッジ(1個)
- サイズ:直径26mm
- 1口:300円以上



花シリーズ

- ピンバッジ(1セット5個組)
- サイズ:1個 1辺33mm
- 1口:1,000円以上

富士山の雲シリーズ

- ピンバッジ(1セット4個組)
- サイズ:1個 直径32mm
- 1口:1,000円以上

直接受取希望: ふじさんネットワーク事務局まで、事前に御連絡をいただき、受取希望日時をお伝えください。
寄付をいただいて、同時に記念品をお渡しします。(TEL 054-221-3498)

送付希望: QRコードを読み込み、HPの寄付専用申込フォームにて申請してください。もしくは、郵便、電話、FAXまたはメールで①～⑤の事項をお知らせください。①名前 ②住所 ③電話番号 ④寄付金額 ⑤希望する種類・個数
振込用紙を住所へ送付します。振込の確認ができれば、記念品を送付します。(振込手数料・送料は不要)



ふじさんネットワーク 2022年3月 vol.64

編集・発行 **ふじさんネットワーク事務局**

静岡県くらし・環境部環境局自然保護課内 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号

電話:054-221-3498 ファックス:054-221-3278

E-mail:3776fujii@pref.shizuoka.jp URL:<http://www.fujisan-net.gr.jp/>

ふじさんネットワーク

- 設立 平成11年10月23日
- 会長 増澤 武弘
- (特定非営利活動法人静岡自然環境研究会理事長・静岡大学客員教授)
- 会員数 567団体・個人(令和4年3月4日現在)

※本書の作成には、マックスバリュ東海株式会社及びハーゲンダッツジャパン株式会社からの寄付金が使われています。

美しい富士山を、未来の子どもたちに

ふじさんネットワーク

FUJISAN NETWORK

2022.3

vol.

64

CONTENTS

- 03 [巻頭インタビュー]
次世代へ大切に繋げたい
富士山と周辺の自然環境
ホールアース研究所
代表理事
山崎 宏さん
- 05 富士山エコレンジャー、
富士山エコサポーターの募集
マックスバリュ東海株式会社様から
御寄付をいただきました
- 06 ふじさんネットワークの会員活動
補助事業(補助金・応援金)について
富士山のごみ持ち帰りマナー向上対策事業
- 07 根原県有地の草原性植生保全活動体験等
外来植物撲滅大作戦について
- 08 「ふじさんネットワーク」
会員募集中!

表紙の写真



富士山と梅

出典『Photo AC』

富士山憲章(行動規範)

1. 富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
1. 富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
1. 富士山の自然環境への負担を減らし、人との共生を図ろう。
1. 富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
1. 富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。

静岡県・山梨県

巻頭インタビュー



ホールアース研究所
代表理事

山崎 宏さん

Interview

次世代へ大切に繋げたい 富士山と周辺の自然環境

富士山周辺の自然環境を学び、自然に親しむ体験を通して「自然の恵み」「自然の畏れ」を肌で感じて欲しいと1982年に創業したホールアース自然学校は、富士宮市柚野の自然環境の豊かな中山間地にあります。「肩書きはホールアース研究所ですが、通常はホールアース自然学校という呼び名です。」と山崎さんは語ります。

自然語で話す

これまでに非常に多くの方が自然体験プログラムに参加してくれていて、個人や家族だけでなく、学校での利用や企業研修の場としての利用も増えています。私が常にキーワードとしている言葉は「自然語で話す」ということです。人間語は人同士のコミュニケーション言語、現代のITなどはテクノロジー言語です。では自然語とはどんなものかというところ、例えば富士山の頂上に傘雲がかかっているのを見ると「明日は雨だよ」ということが、自然と我々人間が話す「自然語」になります。



活動説明をする山崎代表理事。自身は野鳥観察が趣味

そうした自然からの問いかけやサインは、長い間、自然とともに暮らし生きてきた人間が本来一番身近に感じてきたものでした。しかし経済が豊かになり、山や川、森など自然の領域が減少してくるにつれて人も都市に出て、自然の恩恵や自然の怖さを現代の人々はあまり身近に感じる事ができなくなっただけだと思います。

自然語が絶える危機感

ふと自然に目をやると山に木々が覆い茂っていますが、果たして木々は健全に生育しているのだろうか？富士山の生物の多様性が失われていないだろうか？近年の大型台風や大雨、自然災害の気候変動による影響は

コロナ禍での試行錯誤

これからも続くのか？私たちはこうした問いに自然語を学ぶ中で答えていかなければならないと考えています。プログラムに参加してくれる皆さんには、富士山周辺の自然環境を肌で感じていただきながら、自然からのメッセージを受け取る感性を磨き、自然語を身に付けて欲しいです。そして自然語を次世代に繋げるために、体験や活動を通して感じたことを多くの方に共有してもらおうと、美しい自然環境が守られていくことと信じています。

もちろんコロナ禍での私たちの活動に制限はありますが、以前



オンラインでも自然の魅力を伝えている

富士山は時間の経過とともに景色が移ろう



のように一度にたくさん生徒さんたちを迎えるということができません。オンライン技術などを活用して自然環境を画面上で見ていることはできませんが、やはり身体で感じるのが重要です。例えば樹木の様子をオンラインで見ても良かったら、その後は実際に輪切りした木を宅配便で

お送りします。木の年輪を実際の目で確かめてみたり、木の香りを実際に嗅いでもらったり、こうして自然に触れるということになります。本当は以前のようにたくさんの人に来ていただいて、自然に触れた感動や感想を互いに分かち合っていたのが一番良いことだと思います。どこに感



富士山麓の田畑や山林に新たな価値をつけている

動したかは人それぞれ違いますが、いろいろな感動があつて、それを共感・共有することに教育的な効果が出てきます。これを私は「感動のおすそ分け」と呼んでいます。現在、当校ではコロナ禍の行動基準に準拠したやり方を実践していて、ご家族単位、お仲間同士など極めて少数でさらに距離をとって活動をしています。

中山間地域の課題解決

当校のある富士宮市柚野地区も、高齢化が進み田畑や山林の維持管理が難しくなっています。そこで当校では地域からのご要望を受けて田んぼや畑での農作業、竹林や山林の間伐や整備などお手伝いをさせていただいています。中山間地農業には課題が多く、第一次産業で生計を立てている方でも苦労が多いそうです。微力ではありますが、私たちが培ってきた経験やネットワークを活かしながら、企業研修や体験学習、ボランティア活動などと結びつけることで中山間地域の田畑や山林に新しい価値を生み出すことができ、それが地域の方に

喜ばれるのであれば三方良しの結果となります。

かすた

仕事でもそうですが、やはり多くの人が関わったり、それぞれが助け合っていくことで新しいアイデアが生まれ組織も活性化します。企業、行政、地域コミュニティ、学校など多主体がかかわることが重要です。ホールアース自然学校のスタッフを地域内外の多様な人や組織に関わらせていただきながら、この美しい富士山と周辺の自然環境を次世代へ繋ぎ、大切に守っていきたくと考えています。



ホールアース自然学校



ホールアース自然学校展望台で説明をする山崎代表理事

やまざき ひろし
山崎 宏氏

1971年静岡県三島市生まれ。ホールアース研究所代表理事。幼少の頃より富士山麓の自然を遊び場にして過ごす。学生時代に「環境教育」に出会い、自然の魅力を伝えることに携わることを志し、2007年に入職。

ホ

ールアース自然学校は、ここ富士山本校(富士宮市下柚野)のほか、沖繩、福島、新潟、岐阜にも展開し、それぞれの土地にある美しい自然を教材に自然体験活動の提供を実践しています。富士市立少年自然の家および丸火自然公園、田貫湖ふれあい自然塾もホールアース自然学校が運営を担っています。



富士山エコレンジャー、富士山エコサポーターの募集

令和3年度の富士山エコレンジャーの活動は、年明け後の新型コロナウイルス感染者数の急増により、再度合同環境パトロールは自粛することとなりました。

そのような中でも、富士山エコレンジャーの知識の維持・更新や、富士山エコサポーターが活動するために必要な知識・経験を身に付けるため、富士山エコレンジャー養成研修はオンラインで開催しています。

富士山エコレンジャーには、来訪者へのマナーの呼びかけ、自然の解説、もしもの時の応急処置等に必要な知識・経験を習得した方が登録されます。必要な知識を身につけ、一人で活動することが認められるようになるまでの準備期間が、富士山エコサポーターとして活動する期間です。



富士山エコレンジャー養成研修の様子

富士山エコレンジャー養成研修の科目は、自然、歴史、救急等多岐にわたります。の中で、必修科目を含む10科目以上の受講が認定されると富士山エコレンジャーとして登録されます(富士山エコレンジャーにならなくても、富士山エコサポーターとして登録を更新し、活動を継続していただくことも可能です)。

富士山憲章にあるように、富士山を愛し、守る人がいてこそ、後世に富士山の貴重な自然が残せます。会員の皆様の中で、そのために活動してみたい、という方は、推薦書を提出していただき、富士山エコサポーターを経て、富士山エコレンジャーとして活躍していただきたいと思います。

ふじさんネットワーク事務局では、富士山エコレンジャーの活動を紹介します。吉永代表幹事に富士山エコレンジャーの活動についてお話ししていただいたので、是非御覧ください。



富士山のまもりびと (YouTube動画)



腰切塚展望台からの初日の出と富士山(福原氏撮影)

NEWS × COLUMN × REPORT



マックスバリュ東海株式会社から御寄付をいただきました

令和3年度もマックスバリュ東海株式会社様から御寄付をいただきましたので、令和4年2月16日に感謝状を上家事務局次長から、経営企画部CSR推進グループマネージャー長谷川様へ贈呈しました。



ふじさんネットワークからの感謝状贈呈

マックスバリュ東海株式会社様からは、平成15年度から継続して御寄付をいただいております。今回で通算18回目となります。

寄附金は、「ふじさんネットワーク情報誌「富士山の外来植物ハンドブック」」「富士山からの挑戦状」等のパンフレット発行、「外来植物除去活動ピブス&のぼり

り旗」の作成などに活用させていただいており、今回の御寄付も、富士山の環境保全のために有効活用させていただきます。マックスバリュ東海株式会社様以外にも、ふじさんネットワークの活動に賛同する多くの方から御寄付をいただいております。寄附金をいただいた方には、手ぬぐいやピンバッジなどの記念品を差し上げておりますので、御協力いただける方は随時事務局まで御連絡ください(裏表紙を御覧ください)。



パンフレット類と外来植物除去活動ピブス&のぼり旗



ふじさんネットワークの会員活動 補助事業(補助金・応援金)について

令和3年度、ふじさんネットワークでは、富士山憲章の周知定着及び自主的な富士山の環境保全活動の推進を図るため、次の2種類の補助事業で会員を支援しました。

来年度も引き続き、補助事業等を通して、会員の富士山に関する環境保全活動を支援していく予定です。

例年、7月頃から1ヶ月程度、募集期間を設けますので、是非、申請について、ご検討ください。

※募集はふじさんネットワークHP、ふじさんネットワーク通信等で周知します。
※補助事業の内容については、変更となる場合があります。



里山保全と野生動物をテーマに行った体験活動での、なめした獣の皮についての説明(補助金を活用して実施)

今年度新設した応援金は、事務局が想定していたほど、申請がありませんでした。引き続き、来年度も継続予定です。

補助事業の内容		
補助事業名	富士山環境保全事業費補助金	富士山環境保全活動応援金
上限金額	10万円	3万円
交付対象事業	富士山の環境保全に取り組む活動等	同左
事務手続き	① 会員による交付申請後、事務局審査し交付決定の有無を決定	同左
	② 有の場合、交付決定事業の実績(写真・領収証)を元に補助金を交付	有の場合、交付決定事業の実績を問わず、応援金を交付
申請 枠	6団体	約40団体
実績	(5団体)	(11団体)



根原県有地の 草原性植生保全活動体験等

富士宮市根原の根原県有地では、例年、維持管理業務委託を受注したNPO法人富士山自然の森づくりの会員による草刈と、草原性植生保全活動体験に参加したボランティアによる草刈を行っています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により草原性植生保全活動体験は中止となりましたが、令和3年度は感染者数が落ち着いた11月6日(土)に開催し、20名を超えるボランティアの方に参加いただきました。

また、令和2年度からは、常葉大学社環境学部浅見准教授をはじめ大学の皆様が根原県有地を含む根原草原の



常葉大学の皆様の草刈の様子



調査研究を行ったことが縁となり、草刈作業を行っていただいています。

令和3年度は、11月13日(土)に常葉大学社環境学部の教員4名と学生28名の総勢32名が「根原草原バスツアー」の中で根原県有地に立ち寄り、富士山自然の森づくりから借りた鎌で約2時間、ススキやキクイモ等の刈り取り・除去を行っていただきました。

令和2年度の浅見ゼミ4年生が執筆した卒業論文『富士山麓における根原草原の伝統的な耕作が草原植生へ及ぼす影響』には、根原草地の利用形態や火入れの有無による植生の変遷や比較が記載されています。常葉大学の研究紀要にも掲載されるとのことなので、御紹介させていただきます。

今後、様々な方に御協力・アドバイスをいただきながら、草原に生息・生育する貴重な生物が失われないう、管理してまいります。



草原性植生保全活動体験の様子

NEWS × COLUMN × REPORT



富士山のごみ持ち帰り マナー向上対策事業

富士山は誰でもアクセスできる山なので、国籍・年齢・性別等を問わず色々な方々が登山に訪れます。昔からごみの問題はありましたが、平成17年からの世界遺産登録に向けた運動もあり、減少傾向でした。ところが、平成29年に、登山道沿いや山小屋周辺にごみが大量に捨てられたことが問題となり、平成30年以降、静岡県が認定NPO法人富士山クラブに委託して、マナー向上のための呼びかけを行っています。

「自分のごみは自分で持ち帰り、きれいな富士山を後世に残しましょう。」と登山者に呼びかけ、ごみ袋を持っていない人には、イラストや多言語(12ヶ国語)



外国人登山者への説明

で、「ごみは持ち帰ること」をデザインした袋を手渡した結果、ポイ捨てされるごみは減少しています。

令和2年度は開山しなかったため、事業を実施しませんでした。令和3年度は開山しましたが、新型コロナウイルスの感染症対策としてごみ袋は配布せず、インターネットHPや音声ガイドダンス、チラシ等を配布した呼びかけを行いました。



チラシのQRコードを読み込んでHP等を閲覧

登山者へのアンケートを行ったところ、国籍問わず、約5割の回答者が「富士山にごみ箱が無いのを知らなかった」と回答していました。「自分で出したごみは自分で持ち帰らなければならない、ごみを極力出さない」ということを、富士山に来る前に知り、実行してもらうためにどのように情報発信をするのが効果的か、今後も検討を進め、捨てられるごみが少しでも減るように取り組んでいきます。



外来植物撲滅大作戦について

新型コロナウイルス感染症の影響により防除の通りよりも遅くなりましたが、令和3年11月14日(日)に富士宮市粟倉の西臼塚駐車場で「外来植物撲滅大作戦I」を実施し、セイヨウタンポポやメマツヨイグサ等8種類の外来植物の駆除を行いました。

令和4年3月6日(日)には、外来植物撲滅大作戦IIを実施しました。オンラインの勉強会形式で、環境省、静岡県からの情報提供や、除去活動等を行う株式会社環境アセスメントセンター、認定特定非営利活動法人



外来植物撲滅大作戦Iで講師から説明を受ける参加者



富士山クラブの事例発表を行い、参加者には富士山周辺での外来植物の分布状況や対策について学んでいただきました。

富士山の各登山口五合目付近には既に外来植物の侵入が確認されており、更に上方に分布が拡大してしまう前に除去しなければなりません。亜高山帯から上に生育する植物には、そこでしか生育できない希少種があります。

今後、五合目付近での除去活動も計画してまいりますので、その際は皆様にも御協力いただければ幸いです。



外来植物撲滅大作戦I 参加者集合写真